ファームウェアの管理

この章は、次の項で構成されています。

- ファームウェア管理の概要 （1 ページ）
- ファームウェア コンポーネントの表示 （2 ページ）
- ファームウェアの更新 （3 ページ）
- ファームウェアのアクティブ化 （4 ページ）

ファームウェア管理の概要

Web UI の単一ページから次のファームウェア コンポーネントを管理できます。

- アダプタ ファームウェア：アクティブなイメージとバックアップ イメージで構成されている主要なオペレーティング ファームウェアで、次のような異なるインターフェイスからインストールできます。
  - ホスト アップグレード ユーティリティ（HUU）
  - Web UI：ローカルおよびリモートのプロトコル
  - PMCLI：リモート プロトコル
  - XML API：リモート プロトコル

  ファームウェア イメージをローカル ファイル システムまたは TFTP サーバからアップロードできます。
- ブートローダ ファームウェア：ブートローダ ファームウェアは、Cisco IMC からインストールできません。このファームウェアは、Host Upgrade Utility を使用してインストールできます。

次の個々のコンポーネントのファームウェアを更新できます。

- BMC
- BIOS
- CMC

- SAS エクスパンダ
- アダプタ

ハードディスク ドライブ（HDD）のファームウェアは、上述のアダプタ ファームウェアと同じインターフェイスからインストールすることもできます。

ファームウェア コンポーネントの表示

手順

ステップ 1 [Admin] メニューで、[Firmware Management] をクリックします。

ステップ 2 [General] タブの [Firmware Management] 領域で、次の情報を確認します。

名前	説明
[Update] ボタン	ダイアログボックスが開き、ローカル マシンまたはリモート サーバで利用可能なファームウェア イメージ ファイルをインストールできます。
[Activate] ボタン	ダイアログボックスが開き、サーバでアクティブにする使用可能なファームウェア バージョンを選択できます。 **重要** ファームウェアまたは BIOS の更新が進行中の場合は、それらのタスクが完了するまで新しいファームウェアをアクティブ化しないでください。
[component] 列	ファームウェアを更新できるコンポーネントのリスト。
[Running Version] カラム	現在有効なコンポーネントのファームウェア バージョン。

名前	説明
[Backup Version] カラム	サーバにインストールされている別のファームウェア バージョン（存在する場合）。バックアップバージョンは現在動作していません。これをアクティブにするには、[Activate] をクリックします。 （注） 新しいファームウェアをインストールすると、既存のバックアップバージョンはすべて削除され、新しいファームウェアがバックアップバージョンになります。サーバで新しいバージョンを実行するには、新しいファームウェアを手動でアクティブにする必要があります。
[Bootloader Version] カラム	コンポーネントのブートローダ ソフトウェアに関連付けられているブートローダ バージョン。
[Status] カラム	このサーバのファームウェアのアクティブ化のステータス。
[Progress in %] カラム	操作の進行状況のパーセンテージ。

ファームウェアの更新

[Firmware Management] 領域から選択したコンポーネントに応じて、ローカル ディスクまたはリモート サーバからファームウェア パッケージをインストールできます。インストールを確認した後、BMC によってコンポーネントのバックアップ メモリ スロット内のファームウェアバージョンが選択したバージョンに置き換えられます。

手順

ステップ 1 [Admin] メニューで、[Firmware Management] をクリックします。

ステップ 2 [Firmware Management] 領域で、[Component] カラムからコンポーネントを選択し、[Update] をクリックします。

[Update Firmware] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3 ダイアログボックスで次の情報を確認します。

名前	説明
[Install Firmware through Browser Client] オプション ボタン	ファームウェア パッケージがローカル マシンに存在する場合は、このオプション ボタンをクリックします。
[リモートサーバによるファームウェアのインストール（Install Firmware through Remote Server）] オプション ボタン	ファームウェア パッケージがリモート サーバに存在する場合は、このオプション ボタンをクリックします。

ステップ 4 ブラウザのクライアントを介してファームウェアをインストールするには、[Browse] をクリックしてインストールするファームウェア ファイルに移動します。

ステップ 5 ファイルを選択してから、[Install Firmware] をクリックします。

ステップ 6 リモート サーバを使用してファームウェアを更新するには、[Install Firmware from] ドロップダウンリストからリモート サーバのタイプを選択します。次のいずれかを選択できます。

- **TFTP**
- **[FTP]**
- **SFTP**
- **SCP**
- **[HTTP]**

ステップ 7 選択したリモート サーバのタイプに応じて、サーバの [IP/Hostname] および [Image Path and Filename] フィールドに詳細を入力します。

ファームウェアをインストールすると、新しいイメージが非アクティブなイメージと置き換わります。インストール後にイメージをアクティブにすることができます。

重要 FTP、SFTP、SCP サーバ タイプの場合は、ユーザ クレデンシャルを提供する必要があります。

ステップ 8 [Install Firmware] をクリックして、ダウンロードとインストールを開始します。

ファームウェアのアクティブ化

手順

ステップ 1 [Admin] メニューで、[Firmware Management] をクリックします。

ステップ 2 [Firmware Management] 領域で、[Component] カラムからコンポーネントを選択し、[Activate] をクリックします。

[Activate Firmware] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 3 [Activate Firmware] ダイアログボックスで、アクティブにするファームウェア イメージ（オプション ボタン）を選択します。このイメージは実行中のバージョンになります。

ステップ 4 [Activate Firmware] をクリックします。

選択したファームウェア イメージに応じて、アクティブ化のプロセスが開始されます。

重要 アクティブ化の進行中は、次のことを行わないでください。

- サーバのリセット、電源オフ、またはシャットダウン
- BMC のリブートまたはリセット
- 他のファームウェアのアクティブ化
- テクニカル サポートまたは設定データのエクスポート